

2021年3月5日

気候変動適応中国四国広域協議会

資料3

「日本の気候変動2020」について

福岡管区気象台 気象防災部
地球環境・海洋課

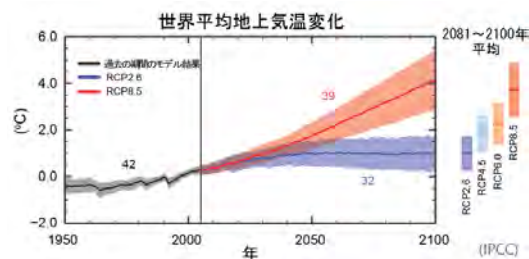
「日本の気候変動2020」の公表 (2020/12/4)

これまでの観測事実・将来予測の最新の知見がとりまとめられた
「気候変動についてまずはこれをお読みください」という一冊。
地球温暖化対策計画・気候変動適応計画等にご活用ください。

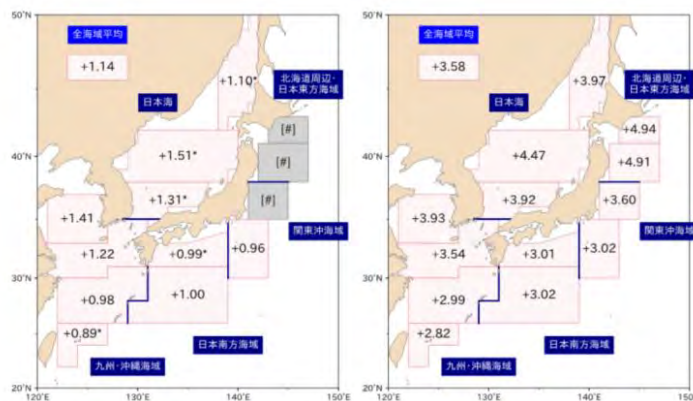


○2つの排出シナリオに基づく予測を掲載

- ・2℃上昇シナリオ (RCP2.6 パリ協定の2℃目標が達成された場合)
- ・4℃上昇シナリオ (RCP8.5 追加的な緩和策を行わない場合)



○日本付近の海洋（水温、水位、高潮、高波等）の予測を掲載



<https://www.data.jma.go.jp/cpdinfo/ccj/index.html>
気象庁HPでご覧いただけます

日本の気候変動2020

検索

2つのシナリオに基づく予測を掲載

将来の予測

20世紀末と比べ、21世紀末の日本は...

年平均気温が約1.4℃ / 約4.5℃ 上昇



猛暑日や熱帯夜はますます増加し、
冬日は減少する。

降雪・積雪は減少

雪ではなく雨が降る。
ただし大雪のリスクが
低下するとは限らない。



激しい雨が増える

日降水量の年最大値は
約12% (約15 mm) / 約27% (約33 mm) 増加
50 mm/h以上の雨の頻度は約1.6倍/約2.3倍に増加



強い台風の割合が増加 台風に伴う雨と風は強まる

※ 黄色の数字は2℃上昇シナリオ (RCP2.6)
紫色の数字は4℃上昇シナリオ (RCP8.5) による予測

海面水温が約1.14℃ / 約3.58℃ 上昇



温まりやすい陸地に近いことや暖流の影響で、
予測される上昇量は世界平均よりも大きい。

沿岸の海面水位が
約0.39 m / 約0.71 m 上昇



3月のオホーツク海海氷面積は
約28% / 約70% 減少



【参考】4℃上昇シナリオ (RCP8.5) では、
21世紀半ばには夏季に北極海の海氷が
ほとんど融解すると予測されている。

日本南方や沖縄周辺においても
世界平均と同程度の速度で
海洋酸性化がさらに進行



「日本の気候変動2020」の構成

<https://www.data.jma.go.jp/cpdinfo/ccj/index.html>

* ホームページでの公開のみ

日本の気候変動2020

▶ [概要版 \(PDF形式: 3.15MB\)](#)

「日本の気候変動2020」の特徴や概要をコンパクト



概要版

内容をコンパクトにまとめたもの

▶ [本編 \(PDF形式: 6.64MB\)](#)

日本の気候変動を概観した資料です。気候変動に関する政策や行動の立案・決定の基礎資料として、また気候変動について考えるきっかけとして御利用ください。



本編

本編の目次

- 14. 日本沿岸の平均海面水位は、1980 年以降、上昇傾向にある p 29
[⇒ 詳細版第 10 章]
- 15. 日本沿岸の平均海面水位は上昇すると予測される p 30
[⇒ 詳細版第 10 章]
- 16. オホーツク海の海水面積は減少している p 32
[⇒ 詳細版第 11 章]

▶ [詳細版 \(PDF形式: 25.5MB\)](#)

本編の内容をご覧いただき、より詳細な情報が必要な場合はこちらを御参照ください。



詳細版

詳しい内容を解説

まとめ

- ・気候変動の最新の知見をまとめた「日本の気候変動2020」を公開しました
- ・地球温暖化対策計画・気候変動適応計画等にご活用ください
- ・2℃上昇シナリオにおける都道府県単位の将来予測については来年度にリーフレットを作成予定です